

# 留 学 報 告 書

平成 29 年 5 月 22 日

学 部 総合理工学部 学科・課程 物質科学科

氏 名 栗原春香

1. 留学先大学・学部 国名 アメリカ

大学名 フロリダ大学

現地到着日 ( 2016 年 8 月 12 日 ) 授業開始日 ( 2016 年 8 月 22 日 )

現地出発日 ( 2017 年 5 月 6 日 ) 授業終了日 ( 2017 年 4 月 28 日 )

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

留学の選考に申し込むためにTOEFLの受験, 選考後にはVISAの取得, アパートの契約, 保険の加入などがありました。留学することが確定してからは, 留学先からメールがくるようになるので, 忘れずに確認することが必要です。また, 健康診断の書類を書くために予防接種をうけたりなど, 時間がかかるものも多くあるので, 余裕を持って準備することが大切です。

3. 自宅から留学先大学までの交通手段 (乗物の種類, 乗り換え地, 所要時間)

自宅から成田空港 (車, 3時間弱), 成田空港からトロント空港 (飛行機, 18時間), トロント空港からオーランド空港 (飛行機, 9時間), オーランド空港から留学先大学 (車, 2時間)。オーランド空港には知り合いの方に迎えに来て頂きました。

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

書面による手続きはあまりありません。手続きはインターネット上で行われるため, 期限までにパソコンで行うものがほとんどでした。期限は大学のホームページに掲載されるため, 自分でこまめに確認する必要があります。

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

留学先大学に到着する日は、事前に留学先大学に知らせる必要があります、その日程に基づいて各自オリエンテーションの日が決められます。内容は、体調が悪くなった時に行く場所等、簡単なキャンパスについての案内や、学生証を発行する方法の説明でした。プレースメントテストは行われませんでした。

6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

授業の形態や試験の傾向は、クラスによって様々です。試験の傾向や、どんな課題があるかは大学のホームページに掲載されているシラバスに書かれています。私が受講したクラスの一つでは、中間テストが3回と期末試験1回、その他にレポート課題2回がありました。テストが評価対象の大部分であるクラスもあれば、期末試験しかなく、そのかわりにレポートを毎週課すクラスもありました。

7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

春学期に受講したUndergraduate Research (PHY 4911) を受講することによって、島根大学で留学前に行っていた研究と近い内容の勉強をすることができました。研究グループのゼミに参加したり、自分の研究室を頂いたりすることが出来ました。私の場合、物理学科での受講でしたが、この授業は様々な学科の中に作られているため、自分の分野から探すことも出来る場合があります。

8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

大学構内にある寮と、構外にあるアパートがあります。二学期間アパートに住みましたが、大学まではバスでおおよそ10分弱であったため、不便さはあまりありませんでした。アパートでは、3人のルームメイトと住み、一緒に買い物に行ったり、ごはんを食べたりしました。ルームメイトがいたことによって、常に英語に触れられる環境にいたることができたと思います。

9. 寮・アパート生活での注意、生活の様子（行事など）、困ったこと、ルームメイトとの付き合い方、（いつから入れるのか、寮の開閉、寮が閉鎖中の滞在場所等）

アパートでは閉鎖される期間はないため、荷物の移動などは必要ありません。しかしアパートの契約

は年単位で行われるため、8月に契約すると留学が終わったあとの数か月間にも家賃を払わなくてはならなくなります。(5月に留学が終わるのでおよそ3か月分)払わなくて済むようにするには、代わりの住人を見つける必要があります。なかなか見つからず、みつけるのにかなり時間がかかる場合もあります。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

(どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等)

口座は開設せず、留学開始時に必要と思われる分だけの現金を持っていきました。アメリカではほとんどの場所でクレジットカードを利用できるため、現金を使う場面はかなり限られます。現金はカード支払いが出来ない屋台や個人経営の店などで使いました。

11. キャンパス案内 (どんなとき、どこへ行けばよいか等)

Reitz Unionに行くと、フードコートや書店があります。地下には無料でコピー機を使うことができる場所もあります。Newell Hallには、勉強できる場所がたくさんあるため、試験前などで図書館に席がないときにも利用することができます。

12. 現地案内 (買物、銀行、レストラン、理髪店、美容院等の様子)

大学のすぐ近くにスーパーマーケット (TARGETとPublix) ができたため、買い物はかなり楽になると思います。滞在時には、車で10分ほどのスーパーマーケットヘルムメートに連れていってもらっていました。レストランは大学の周辺や、スーパーマーケットの近くなどに多くあります。新しくできた友達に、おすすめのレストランを尋ねてみると話が盛り上がるのがよくありました。

13. 失敗談 (どんな小さなことでも)

14. 病気になった場合の対応について (医療費はどのようになっていたか、保険等はどのようにしたか)

保険に入ることは、全生徒が義務付けられています。学期ごとの保険に加入した場合には、冬休み中

に保険の更新をする必要があります。保険の加入手続きが済むまで授業の登録ができないため、早めに終わらせる必要があります。

---

15. お世話になった方々

大学生が中心の団体であるCCH, ルームメイト, 友人, 教授など

---

16. 留学先国内旅行について（場所, 手段, 費用, 旅行社等）

・ニューオーリンズ 飛行機 3万円程度（内旅費2万円程度）

---

・ニューヨーク 飛行機 8万円程度（内旅費2.5万円程度）

---

・セントジョージ 飛行機 3万円程度（内旅費2.5万円程度）

---

その他, 車での旅行としてオーランド, ジャクソンビルなど

---

17. 気候と服装について

夏は日本よりも暑いですが, 冬はそれほど寒くなりません。しかし冷房の設定温度が低いので, 夏も薄い上着を持っていた方がいいかもしれません。冬は日本での秋用の上着で間に合うと思います。

---

18. 日本からぜひ持っていきたいもの（学用品, 衣服, 食品, 薬, 運転免許証等）

留学前に学習していた内容のノートが無くて困ることがあったため, 必要な分はスキャンしておくことで良かったかもしれません。

---

19. 留学に際し最も役立った本は（専門書, 旅行案内書を含めて）

島根大学での授業ノート, 専門書各種

---

20. ホームステイの依頼方法

テキストメッセージを用いて連絡をとり依頼しました。

---

---

21. 留学費用について

1) 旅費	(往) <u>18</u> 万円, (復) <u>13</u> 万円
2) 準備費用	<u>4</u> 万円
3) 大学へ納入する費用	<u>        </u> 円
授業料 (年間合計)	<u>50</u> 万円
保険等その他の費用	<u>6.5</u> 万円
4) 住居費 (光熱費等含む)	<u>月4</u> 万円
5) 衣服代, その他雑費	<u>90</u> 万円
6) 帰国時の土産代, 郵送料等	<u>5</u> 万円
7) 留学先国内旅行費用	<u>12</u> 万円
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額	<u>約250</u> 万円

22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

教科書や衣類はUSPSから郵送しました。箱の大きさで値段が決まる場合と、重量で値段が決まる場合があるため、郵送するものによって使いわけるといいと思います。

---

---

23. 留学して得たこと (全般についての感想文)

英語で会話する上で、自身が英語をはなせるようになることはもちろん重要ですが、それと同じくらい、あるいはそれ以上に重要なことは、相手がどんなことを話しているのか理解することだと思います。その点において、アメリカには実に様々な国からの人々がたため、様々な国のアクセントが入った英語を聴く機会があり、聴く能力は以前と比べてかなり向上した実感があります。語学と同様に、専門分野の勉強も、整った環境下で学ぶことができたと思っています。島根大学で研究していた内容と同じ研究をしているグループに所属し、その中で研究を行えたことは、今後の進路を考えるうえでもとてもよかったと考えています。また、普段の生活を通して、ルームメイトや友人たちと帰国してからも続く交友関係を築くことができたと感じています。

---

---